

ホットニュース

「子ども読書活動推進スキルアップ研修会」の御案内

読書活動の現状と課題を地区全体で共有するとともに、開催地区内の市町図書館(室)と、学校、地域(読書ボランティア等)等が連携・協力し、課題解決を図るため「子ども読書活動推進スキルアップ研修会」を開催します。

	南薩会場	始良・伊佐会場
期 日	平成29年8月23日(水)	平成29年9月13日(水)
場 所	指宿市立山川図書館	霧島市隼人農村環境改善センター

○時 間：午後1時から午後4時30分まで

○内 容：1 県の読書活動推進概要説明

2 講演 南薩会場 演題：「子どもの読書活動を推進するための提言」

講師：鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科教授 千々岩 弘一先生

始良・伊佐会場 演題：「自ら本に手を伸ばす子どもを育てるために」

講師：鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系准教授 原田 義則先生

3 実践事例発表、質疑応答及び意見交換

4 ワークショップ…読み聞かせ、ビブリオバトル等

○対象者：教職員、公共図書館関係職員、幼稚園教諭、保育士、行政関係者、読書ボランティア、PTA(親子読書グループ、家庭教育学級を含む)、学校応援団、読書活動に関心のある県民等

○定 員：150人程度(各会場)

※ 申込方法等の詳細につきましては、県立図書館のホームページを御覧ください。

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。



図書館で探そう、調べよう!

6月上旬、都市対抗野球大会の九州地区予選が32年ぶりに鹿児島で開催されました。鹿児島からは県代表として「鹿児島ドリームウェーブ」が出場しましたが、過去には県内にどのようなチームがあったのかということや社会人野球の様子など、いくつかの郷土資料で知ることができます。

まずは、『鹿児島大百科事典』(南日本新聞社/出版)の「野球」の項目を見てみると、“1920(大正9)年から実業団野球が盛んになり、・・・(略)”という記述があります。戦後は鹿鉄(国鉄鹿児島鉄道管理局)、市電(鹿児島市交通局)、トヨタ自動車などが盛んに活動していたようです。この3チームについては、それぞれ『鹿鉄局30年史』、『鹿児島市交通局三十年史』、『そのとき、青春(鹿児島トヨタ自動車60年史)』といった社史があり、野球部の活動や戦績等が記載されています。これらの資料からは当時の県内社会人野球の様子を知ることができます。

また、『太陽国体』(南日本新聞社/出版)では、準硬式野球で鹿児島相互信用金庫が全国制覇した様子が写真入りで紹介されています。2020年の鹿児島国体に向けて、鹿児島の社会人野球について調べてみませんか。

新着図書案内

《一般書》7月14日(金)

- 『小説家・逢坂剛』 逢坂剛/著 東京堂出版
- 『還暦ジョッキー』 的場文男/著 KADOKAWA
- 『ときめく文房具図鑑』 山崎真由子/著 山と溪谷社
- 『猫の日本史』 桐野作人/編著 洋泉社
- 『ひよっこ 上』 岡田恵和/著 NHK出版

《児童書》7月23日(日)

- 『むしさんなんのぎょうれつ?』 オームラトモコ/作 ポプラ社
- 『ひとりになったライオン』 夏目義一/文・絵 福音館書店
- 『空をけつとばせ』 升井純子/作 大島妙子/絵 講談社
- 『小学生のかっこいい!!自由研究』 成美堂出版編集部/編 成美堂出版
- 『あるかしら書店』 ヨシタケシンスケ/著 ポプラ社

催し物の御案内

- **高校生ボランティア養成講座**
7月16日(日)・7月22日(土) (受講者決定済)
図書館の初歩的な業務の経験を通して、関心及び公共でのマナー意識を高めるとともに、図書館を活用する人材を育てます。
- **第1回学習サークル** 7月30日(日) (受講者決定済)
古文書を活用した学習を通して、郷土への歴史認識を深めるとともに、図書館利用の幅を広げます。
- **児童文化室** 7月23日(日)～8月22日(火)
「きょうりゅう大集合！」
昨年度ミニミニ展示で好評だった、恐竜関係の本を集めて紹介します。
- **一般閲覧室ミニ展示** 8月1日(火)～8月31日(木)
「大人の自由研究」
夏休み期間中は大人も子どもの心にかえて、自由研究を楽しんでみませんか。大人も夢中になる工作や実験、自然観察に関する本を紹介します。

図書館職員のつぶやき

現在、当館の一般閲覧室ミニ展示コーナーでは「鹿児島県立図書館ゆかりの作家たち」と題して、3人の作家を紹介しています。

第4代鹿児島県立図書館長であり、「親子20分読書運動」を全国に広げた椋鳩十氏、現伊佐市出身で直木賞作家でもある海音寺潮五郎氏、鹿児島県立図書館奄美分館初代館長であり、大島地区の読書活動普及に貢献された島尾敏雄氏です。

3人の作家をより身近に感じていただけるよう、それぞれの著書や関連図書、貴重資料等を中心に展示しています。

8月31日(木)まで展示していますので、ぜひ御覧ください。



【ミニ展示コーナー】

県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回紹介していただいた宝本は、ルーシー・モード、モンゴメリ/著、村岡花子/訳『赤毛のアン』（新潮社）です。

私の宝本は『赤毛のアン』です。結婚する前、まだ会社勤めをしている頃、仕事や恋愛で悩むことがありました。何事にも悲観的になり、すっかり自信をなくしていたとき、姉の愛読書であった『赤毛のアン』に出会ったのです。アンの前向きな物事のとらえ方にふれ、自分の悩みはちっぽけで、もっと見たり感じたりすべきことがあるんだと、生きる希望がわいてきたことを思い出します。この本は、私が生きていく上でなくてはならない一冊です。



『でんでんむしのかなしみ』(新美南吉/作 かみやしん/絵)からのクイズです。

うまれたばかりの小さなでんでん虫は、だれのせなかののっておはなししているでしょうか。

ヒント
でんでんむしのかぞくだよ。

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、8月13日(日)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「きいろ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
7月							15◆
	16	17	18	19★	20	21	22
	23	24	25	26★	27	28	29
8月	7/30	7/31	1	2★	3	4	5
	6	7	8	9★	10	11	12
	13	14	15				

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜)：9時～17時

- は、休館日。
- は、学習室のみ開室(9時～17時)。
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)。
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)。
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(7月28日、8月15日【予定】)。
- は、児童文化室新着図書の日(7月23日)。